

作業計画と実績

2017年5月9日現在

月日	曜日	予定 (3/23週間予定表より)	実績
3月20日	月	[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中)	[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実 施中)
3月21日	火	・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中)	・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実 施中)
3月22日	水	・Area PADLES ・PS-TEPC実験 ・Group	・Area PADLES ・PS-TEPC実験 ・Group
3月23日	木	Combustion実験 ・FROST2機能 確認	Combustion実験 ・FROST2機能 確認
3月24日	金	○船外利用 ・宇宙環境計測 ミッション (SEDA- AP)	○船外利用 ・宇宙環境計測 ミッション (SEDA- AP)
3月25日	土	・全天のX線天体 の監視 (MAXI) ・簡易曝露実験 装置 (ExHAM)を 利用した曝露実 験	・全天のX線天体 の監視 (MAXI) ・簡易曝露実験 装置 (ExHAM)を 利用した曝露実 験
3月26日	日	・高エネルギー 電子、ガンマ線 パーストの観測 (CALET)	・高エネルギー 電子、ガンマ線 パーストの観測 (CALET)

日付は日本時間

略語

Stem Cells: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究
(代表研究者: 森田隆 大阪市立大学教授)

Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)

Group Combustion: ランダム分散液滴群の燃え広がりと群燃焼発現メカニズムの解明

Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測

PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)

FROST2: 「きぼう」搭載用ポータブル極低温冷蔵庫

SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置

MAXI: JEM搭載全天X線監視装置

ExHAM: 簡易曝露実験装置

CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置

作業計画と実績

2017年5月9日現在

月日	曜日	予定 (3/23週間予定表より)	実績
3月27日	月	[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験 ・Group Combustion実験 ・FROST2機能 確認 ○船外利用 ・宇宙環境計測 ミッション (SEDA- AP) ・全天のX線天体 の監視 (MAXI) ・簡易曝露実験 装置 (ExHAM)を 利用した曝露実 験 ・高エネルギー 電子、ガンマ線 パーストの観測 (CALET)	[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験 ・Group Combustion実験 ・FROST2機能 確認 ○船外利用 ・宇宙環境計測 ミッション (SEDA- AP) ・全天のX線天体 の監視 (MAXI) ・簡易曝露実験 装置 (ExHAM)を 利用した曝露実 験 ・高エネルギー 電子、ガンマ線 パーストの観測 (CALET)
3月28日	火		
3月29日	水		
3月30日	木		
3月31日	金		
4月1日	土		
4月2日	日		

日付は日本時間

略語

- Marangoni UVP: マランゴニ対流における時空間構造
(代表研究者: 依田真一 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 教授)
- Stem Cells: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究
(代表研究者: 森田隆 大阪市立大学教授)
- Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
- Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
- PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
- Group Combustion: ランダム分散液滴群の 燃え広がり と 群燃焼発現メカニズムの解明
- FROST2: 「きぼう」搭載用ポータブル極低温冷凍庫
- SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
- MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
- ExHAM: 簡易曝露実験装置
- CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置

作業実績

2017年5月9日現在

月日	曜日	イベント内容
4月3日	月	Marangoni UVP
4月4日	火	<p>[継続実施中]</p> <p>○船内利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Stem Cells実験(※冷凍・冷蔵庫(MELFI)にて実施中) ・Space Pup実験(※冷凍・冷蔵庫(MELFI)にて実施中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験 ・Group Combustion <p>実験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FROST2機能確認 <p>○船外利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙環境計測ミッション(SEDAP) ・全天のX線天体の監視(MAXI) ・簡易曝露実験装置(ExHAM)を利用した曝露実験 ・高エネルギー電子、ガンマ線バーストの観測(CALET)
4月5日	水	
4月6日	木	
4月7日	金	
4月8日	土	
4月9日	日	

日付は日本時間

- 略語
- Marangoni UVP: マランゴニ対流における時空間構造
(代表研究者: 依田真一 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 教授)
 - Stem Cells: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究
(代表研究者: 森田隆 大阪市立大学教授)
 - Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
 - Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
 - PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
 - Group Combustion: ランダム分散液滴群の燃え広がりと群燃焼発現メカニズムの解明
 - FROST2: 「きぼう」搭載用ポータブル極低温冷凍庫
 - SEDAP: 宇宙環境計測ミッション装置
 - MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
 - ExHAM: 簡易曝露実験装置
 - CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置

作業実績

2017年5月9日現在

月日	曜日	イベント内容	
4月10日	月	<p>[継続実施中]</p> <p>○船内利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Stem Cells実験(※冷凍・冷蔵庫(MELFI)にて実施中) ・Space Pup実験(※冷凍・冷蔵庫(MELFI)にて実施中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験 ・Group Combustion 実験 ・FROST2機能確認 <p>○船外利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙環境計測ミッション(SEDAP) ・全天のX線天体の監視(MAXI) ・簡易曝露実験装置(ExHAM)を利用した曝露実験 ・高エネルギー電子、ガンマ線バーストの観測(CALET) 	
4月11日	火		
4月12日	水		
4月13日	木		・ExHAM#2-2サンプル交換後作業
4月14日	金		
4月15日	土		
4月16日	日		

日付は日本時間

- 略語
- Marangoni UVP: マランゴニ対流における時空間構造
(代表研究者: 依田真一 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 教授)
 - Stem Cells: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究
(代表研究者: 森田隆 大阪市立大学教授)
 - Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
 - Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
 - PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
 - Group Combustion: ランダム分散液滴群の燃え広がりと群燃焼発現メカニズムの解明
 - FROST2: 「きぼう」搭載用ポータブル極低温冷凍庫
 - SEDAP: 宇宙環境計測ミッション装置
 - MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
 - ExHAM: 簡易曝露実験装置
 - CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置

作業実績

2017年5月9日現在

月日	曜日	イベント内容		
4月17日	月	Marangoni UVP 実験	[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験(※冷凍・冷蔵庫(MELFI)にて実施中) ・Space Pup実験(※冷凍・冷蔵庫(MELFI)にて実施中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験 ・Group Combustion 実験 ・FROST2機能確認 ○船外利用 ・宇宙環境計測ミッション(SEDAP-AP) ・全天のX線天体の監視(MAXI) ・簡易曝露実験装置(ExHAM)を利用した曝露実験 ・高エネルギー電子、ガンマ線バーストの観測(CALET)	
4月18日	火			・NREP関連作業
4月19日	水			・NREP関連作業
4月20日	木			
4月21日	金			
4月22日	土	JAXA PCG 実験		
4月23日	日			

日付は日本時間

- 略語
- Marangoni UVP: マランゴニ対流における時空間構造
(代表研究者: 依田真一 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 教授)
 - JAXA PCG: タンパク質結晶生成実験
 - Stem Cells: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究
(代表研究者: 森田隆 大阪市立大学教授)
 - Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
 - Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
 - PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
 - Group Combustion: ランダム分散液滴群の 燃え広がり と 群燃焼発現メカニズムの解明
 - FROST2: 「きぼう」搭載用ポータブル極低温冷凍庫
 - SEDAP-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
 - MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
 - ExHAM: 簡易曝露実験装置
 - CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置

作業実績

2017年5月9日現在

月日	曜日	イベント内容	
4月24日	月	・NREP関連作業	<p>[継続実施中]</p> <p>○船内利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Stem Cells実験(※冷凍・冷蔵庫(MELFI)にて実施中) ・Space Pup実験(※冷凍・冷蔵庫(MELFI)にて実施中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験 ・Group Combustion 実験 ・FROST2機能確認 ・JAXA PCG実験 <p>○船外利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙環境計測ミッション(SEDAP) ・全天のX線天体の監視(MAXI) ・簡易曝露実験装置(ExHAM)を利用した曝露実験 ・高エネルギー電子、ガンマ線バーストの観測(CALET)
4月25日	火	・NREP関連作業	
4月26日	水	・NREP関連作業	
4月27日	木		
4月28日	金	・NREP関連作業	
4月29日	土		
4月30日	日		

日付は日本時間

- 略語
- JAXA PCG: タンパク質結晶生成実験
 - Stem Cells: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究
(代表研究者: 森田隆 大阪市立大学教授)
 - Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
 - Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
 - PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
 - Group Combustion: ランダム分散液滴群の 燃え広がり と 群燃焼発現メカニズムの解明
 - FROST2: 「きぼう」搭載用ポータブル極低温冷凍庫
 - SEDAP: 宇宙環境計測ミッション装置
 - MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
 - ExHAM: 簡易曝露実験装置
 - CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置

作業実績

2017年5月9日現在

月日	曜日	イベント内容
5月1日	月	・超小型衛星(NRCSD#11)放出準備作業
5月2日	火	
5月3日	水	
5月4日	木	
5月5日	金	
5月6日	土	
5月7日	日	

[継続実施中]

○船内利用

- ・Stem Cells実験(※冷凍・冷蔵庫(MELFI)にて実施中)
- ・Space Pup実験(※冷凍・冷蔵庫(MELFI)にて実施中)
- ・Area PADLES
- ・PS-TEPC実験
- ・Group Combustion 実験
- ・FROST2機能確認
- ・JAXA PCG実験

○船外利用

- ・宇宙環境計測ミッション(SEDAP)
- ・全天のX線天体の監視(MAXI)
- ・簡易曝露実験装置(ExHAM)を利用した曝露実験
- ・高エネルギー電子、ガンマ線バーストの観測(CALET)

日付は日本時間

- 略語
- JAXA PCG: タンパク質結晶生成実験
 - Stem Cells: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究
(代表研究者: 森田隆 大阪市立大学教授)
 - Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
 - Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
 - PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
 - Group Combustion: ランダム分散液滴群の 燃え広がり と 群燃焼発現メカニズムの解明
 - FROST2: 「きぼう」搭載用ポータブル極低温冷凍庫
 - SEDAP: 宇宙環境計測ミッション装置
 - MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
 - ExHAM: 簡易曝露実験装置
 - CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置